

訪問歯科へのアンケート集計 1

(1) 診療所の医師数及び年齢、歯科衛生士数を教えて下さい。(平成28年7月現在)

・医師: 名 非常勤医師: 名(内訪問診療行っている医師: 名)

医師の数	1	1	1	1	1	6	5	1	2	2	1	
非常勤医師の数			0		0	3	3	1	0	0	0	
訪問診療に関わっている歯科医師			1		0	3	4	0	1	2	1	

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

・年代

20代			0				1					
30代			1			3	1		1		1	
40代			0			2	2	1		2		
50代	1	1	0									
60代			0	1	1				1			
70代			0			1	1	1				

・歯科衛生士: 名 非常勤歯科衛生士: 名

歯科衛生士の数			1	1	0	4	12	1	1			
非常勤歯科衛生士			2		0	1	9	1	2	3	1	
内 訪問診療に関わっている歯科衛生士			1		0	2	10	0	2	3	1	

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

(2) 貴診療所は往診・訪問診療を行っていますか?

はい	1	2	25	○		50	##		1	##	0	
いいえ				○				○				

居宅療養管理指導・在宅療養管理指導算定の対象者はいますか?

はい			25			25	30		50	80		
いいえ	○	○		○	○			○			○	

はいの方にお聞きします。往診・訪問診療の依頼はどこからですか? あてはまるものに○でお答えください。(複数回答可)

1 貴診療所			○						○	○		
2 かかりつけ医			○						○		○	
3 ケアマネージャー			○			○	○		○	○		
4 その他		○	○	○		○			○		○	

(・患者様のご家族 ・診療所)

(4) ケアマネージャーとの連携について下記に実際に行っているものに○をしてください(複数可)

1面談や電話での連携・連絡			○			○	○		○			
2担当者会議の参加												
3毎月の状況報告			○				○			○		
4その他		○										

・一切なし。連絡もなし。他業種からの連携を求められたこともなし。毎度、居宅にてご家族には連携の連絡をお願いしているがご家族が伝えていてもケアマネージャーをはじめ他職種から連絡があった事は皆無

4その他

(5) 在宅医療における訪問歯科としての現在、業務で行われているものに○をつけてください。(複数回答可)

1 むし歯の治療	○	○	○			○	○		○	○	○	
2 義歯の治療	○	○	○	○		○	○		○	○	○	
3 摂食障害・嚥下障害への対応						○	○		○			
4 口腔ケア	○		○			○	○		○	○	○	
5 発語リハビリテーション												
6 嚥下リハビリテーション						○	○					
7 咀嚼リハビリテーション						○			○			
8 24時間相談												
9 治療後のモニタリング			○									
10 カンファレンスへの参画							○					

(2) 多職種連携の研修・意見交換会を実施する場合都合の良い曜日時間帯をお聞かせください

月												
火												
水	19時				13時 ~16時							
木			16時									
金												
土			16時	15時 ~16時		AM	14時 ~	15時 以降	○		15時	

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

(6) 往診・訪問診療を行うにあたり望んでいる事、困っている事などお聞かせください。

① 主治医に対して・・

- ・連携を望まれているのであれば自ら内科、外科等医師の内容も学んでは。
- ・大正区の先生は親切でありがたいです。
- ・患者様の情報

② 患者に対して・・

- ・当日キャンセルや不在などあり次の往診先、患者さんにご迷惑かける事が多々あること

③ ケアマネージャーに対して・・

- ・何の為に存在しているのか甚だ疑問 肩書きだけの方々と仕事しなさい。
- ・患者様の体調がすごく悪い時や入院した時等ご連絡頂きたい。
- ・出来ればもう少し口腔に興味をもっていただけたらと思います。

④その他・・・・・

- ・厚労省に対して・・・・・無意味な連携事業をやめてほしい。現場とかけ離れた内容では税金の無駄遣いである。

- ・ヘルパーに対して・・・・・ヘルパーさんにももう少し口腔ケアを行ってほしい。

(7) 多職種連携の研修会で行ってほしい内容がありましたらお聞かせください。

○ 研修を持つ前に1人の在宅患者様に幾つの職種が係っているのか?どのように連携すべきか? どの職種が中心になって全員を集めコーディネートすることが大切だと考えます。本来、その為にケアマネージャーという職種が創られたはず。多職種連携業の為に担当役員は診療を不本意ながら休みがちにならざる得ず本来の仕事である治療業務に支障きたしております。

○ 基本的なことですがヘルパーさん・訪問看護などの仕事としてどこまでが出来てどこからが出来ないのかをみんなが知る必要があると思います。「要介護認定を受けていればヘルパーでも口腔ケアが出来るのか?」とか

○ 歯科から他職種に向けてオーラルマネジメントや摂食嚥下等歯科関係の研修を発信しているが実際は連携していないので医師、○○○○がどのようにみているのかわからない。

○ ミールラウンド等での(擬似)患者さんの意見・情報交換の研修

○ 症例検討会みたいな形で多職種にての視点で意見を聞いてみたいです

○ 認知症の経過

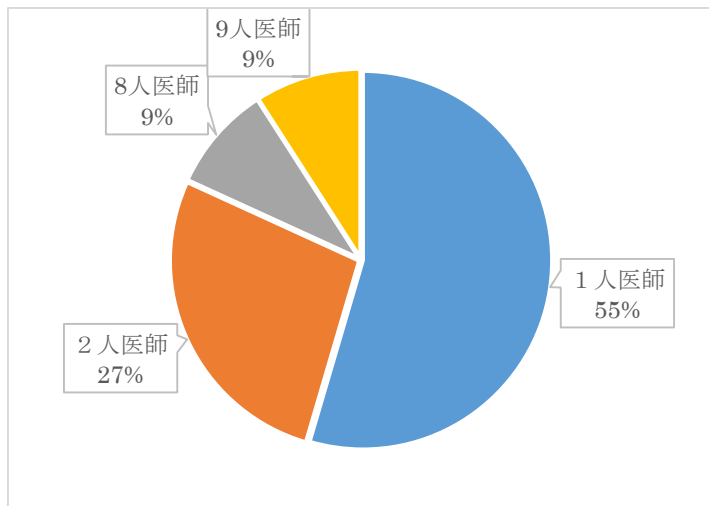
その他

○ この様な事前アンケートをなされた事は本当に喜ばしいと存じます。現場から声を上げましょう。このままでは在宅医療は駄目になってしまいます。本音を伝える機会を与えていただきありがとうございます。

第1回 訪問歯科へのアンケート（在宅医療実施状況に関する調査）

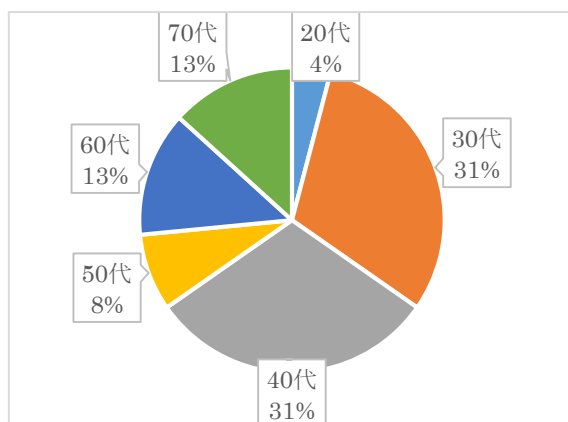
平成28年7月

(1)訪問歯科へのアンケートの結果歯科診療所の従事者について

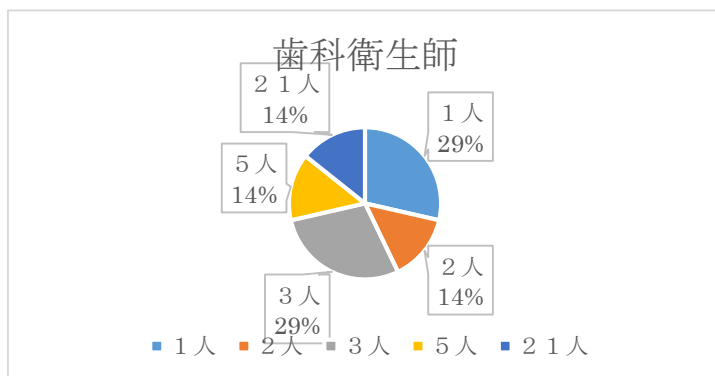


訪問歯科診療に関わっている歯科医師は11箇所のうち6箇所 22人中12人。

・年代



・歯科衛生士の従事者



訪問診療に関わっている歯科衛生師は 11 箇所中 6 箇所 34 人中 19 人

(2) 貴診療所は往診・訪問診療を行っていますか?

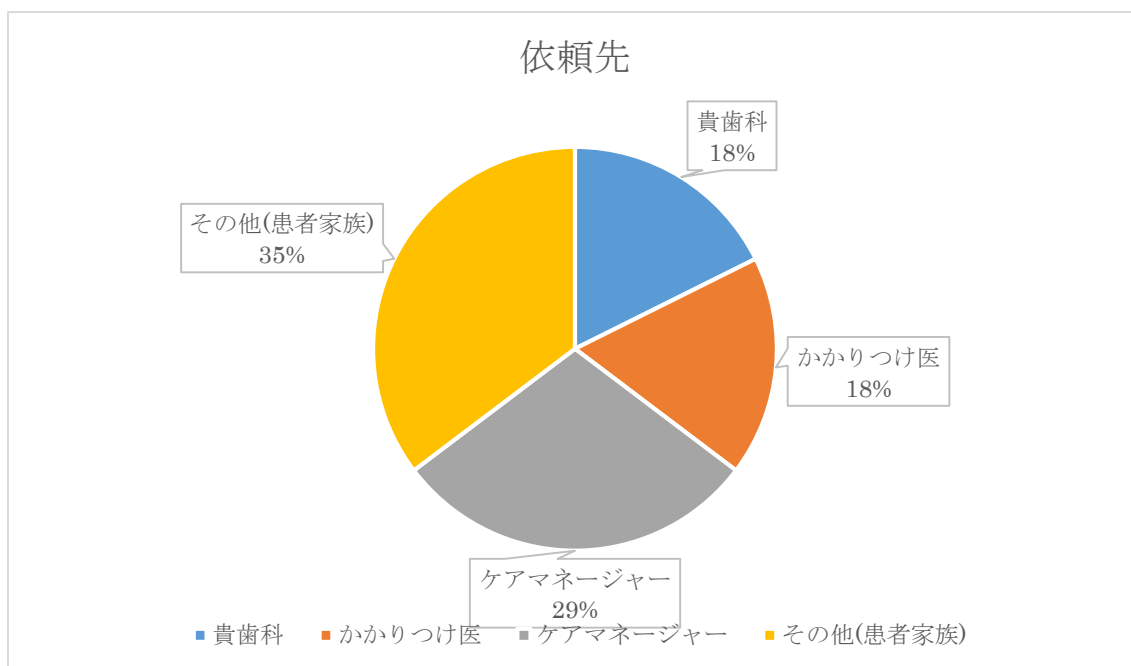
11 箇所中 8 箇所

現在治療中の患者は 1 人から 207 人 200 人 2 箇所

(3) 居宅療養管理指導 在宅療養管理指導算定の対象者はいますか?

11 箇所中 5 箇所 25 人～80 人

・はいの方にお聞きします。往診・訪問診療の依頼はどこからですか?



(4) ケアマネージャーとの連携について下記に実際に行っているものに○をして下さい。

系列 1

